

⑤ふるさとの川と歴史探索



テ ー マ

糸魚川の川の歴史や治水について知ろう！

人 数

20 人

対象学年

小学 3 年生以上

実施時期

4 月から 10 月

実施時間

2 時間程度

最低経費

0 円



参考画像：上南公民館 柵口

場 所

川に関連した史跡や治水施設があり、歩くに適した場所、モデル地区：姫川、早川、能生川
頭山の水神碑や寺島の行人塚など、姫川の史跡をまわれる行程も良い

必要なスタッフ数

スタッフ 2 名以上

指導のねらい

- ・ 堤防を歩き、近隣の史跡を見学し、川の歴史、治水と堤防について学ぶ機会を提供する。
- ・ 自然の大切さを学び、環境について考える心を育てる。

指導の流れ及び留意点

◆活動の流れ・内容

- ①集合前に事前用具を準備する。
- ②参加者の人数・体調確認を行い、開会式・スタッフ紹介・スケジュールを説明する。
- ③姫川さくら公園で、川の歴史について説明を受ける。
高田河川国道事務所に堤防損傷確認や護岸確認など治水について説明を受ける。
- ④桜を見ながら堤防を歩く。
- ⑤石公園に移動し、石の調査・石コロ探しのフィールドビンゴを行う。
- ⑥終了前にはごみ拾い活動をとおして環境を大切にする学習をする。
- ⑦活動の振り返り。

◆留意点

- ・現地近くに公園はあるがトイレの場所を確認しておくこと。
- ・炎天下の時期に活動する場合、脱水症状や熱中症に注意し、飲料水など準備しておく。
- ・川の周辺散策は事前にポイントを決めておくまたは講師と打ち合わせておくこと。
- ・体調不良の方が出た場合の対処方法について事前に職員・役員で打ち合わせておく。
- ・天候が悪い場合は延期・中止をするなど安全確保について常に心掛けること。

必要な用具（物品例）

※★は必須物品

	用品名	経費の目安	内容
	救急箱・ブルーシート、ゴミ袋など	-	活動時に使用、既存のものがあれば購入不要 ゴミ拾い用の袋は持参するが、多少準備
	講師謝礼	5,000 円	講師を使用する場合
	ハンドマイク	-	ハンドマイク 1 台があると便利
	カメラあるいはビデオ	-	記録用、既存のものがあれば購入不要
	ワンタッチテント	-	日影が必要な場合
	飲料・冷たいもの	-	各自持参だが、不足に備えて用意したい。
	石探し・川用フィールドビンゴ鉛筆、バインダー	-	事前に現地から石を拾ってきて運営側も自分で調べておくスムーズ。事業内容によって必要であれば印刷して持っていく。

※借用した品が破損した場合、新たに購入して返品する。

※途中リタイヤに備え、車を 1 台用意しておくこと。

※講師はその地域の地区公民館または地域づくり団体に相談する。

また、川であれば河川事務所などが無償で講師をしてくれる可能性がある。

参加者の持ち物

歩きやすい衣服と靴、帽子、タオル、飲料、必要であれば簡単な救急用品

万が一風で荷物が飛び、川に流れてどうしても取りに行けないものは諦めること。

帽子やタオルなど紛失する可能性があることをあらかじめ参加者に周知しておく。

外部指導者・事業相談

事業相談：高田河川国道事務所（R5 に田沢小で防災出前講座の実績あり）

糸魚川市文化振興課 フォッサマグナミュージアム

糸魚川市生涯学習課

各地区公民館・地域づくり協議会・自治会など

上刈または大野・平岩などの H7 災害の場所を訪ねる場合には、

地区区長などに当時の話をしてくれる方を紹介してもらってもいい。

講師については地区公民館にも相談する。

教科との関連

【理 科】3 年：身近な自然の観察

4年:季節と生物

【社 会】5年:国土の自然などの様子

【特別活動】遠足・集団宿泊行事

※モデルコース



公園で集合し堤防についての話を聞く⇒堤防を歩きながら見学⇒ふれあい石公園で石拾い・フィールドビンゴ⇒帰りはゴミ拾いしながら帰る⇒公園でゴミを回収して終了（途中、講師から堤防の維持管理や修繕などについて話をしてもらう）



天気の良い日は
歩いて楽しい散策
コースです。